

8月25日 土 9:00~11:25

ミニシンポジウム

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

MS 番号	テーマ	リーダー名	定員
MS-A-01	小児へのくすりの飲ませ方 ～病児保育の現場から学ぶ服薬支援の実際～	上荷裕広	100
MS-A-02	あまえ療法(その8)	澤田 敬	80

ワークショップ

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

WS 番号	テーマ	リーダー名	定員
WS-A-03	事務スタッフのためのワークショップ入門セミナー A ～事務スタッフにできる広報～	塩野千春	60
WS-A-04	服薬指導への取り組み(その11)副作用やミスを避けるための工夫	高橋 肇	40
WS-A-05	全職員で取り組むトリアージ ～看護師主体から多職種協働へ～	須藤三枝子	30
WS-A-06	どこまでできる健診相談 ～乳幼児健診の場で、子育ての悩み引き出せていますか～	後藤洋一	40
WS-A-07	小児救急電話相談の対応を学ぼう	福井聖子	40
WS-A-08	まずはあててみませんか? ～外来で有用なエコーの活用法～	村上綾子	20
WS-A-09	今までにない外来でのムンテラ技術向上	村上 博	40
WS-A-10	子供の採血、点滴におけるポジショニングについて考えてみませんか?	櫻井淑子	30
WS-A-11	事務スタッフに出来る待ち時間の工夫 ～待ち時間短縮と有効利用の工夫～	萩野里美	30



8月25日 土 14:00~16:25

ミニシンポジウム

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

MS 番号	テーマ	リーダー名	定員
MS-B-12	愛着を支える育児支援「タッチケア」	吉永陽一郎	100
MS-B-13	熱傷の湿潤療法を学ぼう	矢嶋茂裕	100

ワークショップ

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

WS 番号	テーマ	リーダー名	定員
WS-B-14	たかが「事務」されど「事務」 ～事務の可能性を広げよう！～	小笠原安子	70
WS-B-15	外来看護の検討(6) 子どもの予防接種教育をやってみよう!	川口千鶴	37
WS-B-16	さぁ、くすりを飲もう!(その3) ～服薬動機を高めるために～	齋藤栄二	40
WS-B-17	隣の小児科の喘息診療が知りたい!	深澤 満	30
WS-B-19	小児救急初療コース(Triage & Action)	茂木恒俊	30
WS-B-20	やってみよう、小児漢方! ～子どもへの漢方薬の投与方法について～	森 蘭子	30
WS-B-21	電子カルテ ANNYYS 臨床版における危機管理について	清水 健	40
WS-B-22	喫煙防止授業事始め	野田 隆	40
WS-B-23	外来小児科における臨床心理士の業務内容について考える	安東大起	20
WS-B-24	体験してみよう! ペアレント・トレーニングの実際	小倉直子	40
WS-B-25	WISCIII を体験してみよう	高田 修	40
WS-B-26	これからの1か月健診を考える(その2) ～魅力ある1か月健診は小児科で～	金子淳子	40
WS-B-27	お母さんがたへ、効率よく情報を伝えるテクニック	島田 康	30



8月26日 日 9:00~11:25

ミニシンポジウム

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

MS 番号	テーマ	リーダー名	定員
MS-C-28	子どもの足を考える(パート5)「子どもたちの足や靴から、五感を開き、生きる力を育てる歩育を考える」	松田 隆	100
MS-C-29	赤ちゃんから始まる禁煙支援	高橋裕子	100

ワークショップ

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

WS 番号	テーマ	リーダー名	定員
WS-C-30	事務スタッフのためのワークショップ入門セミナー：B ～クレームの内容と対処～	加藤篤子	60
WS-C-31	当たり前だと思っている今までの慣習のルーツを楽しく勉強しよう！	村上 博	40
WS-C-32	病児保育での服薬を考えよう： 実際、現場で困ったことを話し合しましょう	福隅美鈴	40
WS-C-33	予防接種におけるワクチンの説明を考える ～健康教育や啓発活動も含めて～	松浦伸郎	30
WS-C-34	『勇気づけ』の子育て支援を学ぼう アドラー心理学ワークショップ? 『子どもを勇気づける』	柳本利夫	30
WS-C-35	赤ちゃんのスキンケア教室をはじめませんか?(その2)	土屋千枝	20
WS-C-36	CSP(コモンセンスペアレンティング)を学ぼう	福田弥一郎	40
WS-C-37	人の振り見てわが振りなおせ	藤田 位	20
WS-C-38	事務スタッフに関わる予防接種の業務 ～その現状と問題点～	島田 等	30
WS-C-39	シャイな子・引っ込み思案な子について学ぼう(Part 2) ～場面緘黙の関わり方を中心に～	金原洋治	40



表の読み方

参加最大人数	最大参加可能人数を示します。少ない人数での開催となる場合もあります。	
1施設からの定員	同一施設からの複数参加を制限する MS・WS があります。	
対象	参加者の職種を限定している MS・WS があります。	
参加費	運営のための費用を参加者から徴収 WS・MS があります。当日リーダーにお支払いください。リーダーは費用の概要を参加者にお示しください。	
当日参加	<p>「不可」は事前登録した方だけが参加できるものです。</p> <p>「可」の場合でも事前登録者で参加人数に達していれば当日参加はできません。</p> <p>このため、「当日参加可」であっても事前登録をお勧めします。</p> <p>一部の WS では、事前登録数を限り、当日参加枠を確保しているものもあります。</p>	
進め方	研修型	講義や発表の内容を確認しながら検討し、学習内容をまとめて成果とします。
	問題解決型	提示された問題について解決策を検討し、その結論を成果とします。

8月25日 土 9:00~11:25

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

ミニシンポジウム

MS-A-01	リーダー	上荷裕広 (すずらん調剤薬局)			サブリーダー	福隅美鈴 (鈴木小児科医院) 齋藤栄二 (あおば薬局) 亀田和美 (永井小児科医院)		
	<p>小児へのくすりの飲ませ方について悩んでいることはありませんか？ 小児への服薬支援については、薬剤師を中心に過去の WS にてさまざまな観点からの討議が行われ、プロダクトが発表されてきました。 今回は飲ませ方の指導を行う薬剤師だけではなく、病児保育の現場や診療所で直接子どもたちにくすりを飲ませている方々を対象として、より理解を深めていただくことを目的にミニシンポジウムを行うことにしました。 さらには、くすりを飲ませる際に生じた悩みや問題点を参加者の方々から挙げていただき、討議を行うことで解決策につながるヒントをひとつでも多く見出し、日常業務にフィードバックできるようにしたいと考えています。</p>							
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	空きがあれば可				
100人								
1施設からの定員	参加費	無料	進め方	研修型				
制限なし								

MS-A-02	リーダー	澤田敬 (NPO 法人カンガルーの会)			サブリーダー	新津直樹 (新津小児科) 小池茂之 (小池医院) 藤田一郎 (佐賀大学)		
	<p>あまえ療法 (その8)</p>							
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	可				
80人								
1施設からの定員	参加費	無料	進め方	研修型				
制限なし								

ワークショップ

WS-A-03	リーダー	塩野千春 (ぼよぼよクリニック)			サブリーダー	島田等 (しまだ小児科) 星野浩勲 (片山キッズクリニック)		
	<p>事務スタッフのための ワークショップ入門セミナー A ~事務スタッフにできる広報~</p>							
参加人数定員	対象	事務系職	当日参加	可				
60人								
1施設からの定員	参加費	無料	進め方	問題解決型				
2人まで								

8月25日 土 9:00~11:25

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

ワークショップ

WS-A-04		リーダー 高橋肇（はじめこどもクリニック）	サブリーダー 高橋めぐみ（はじめこどもクリニック） 土生泰彰（ヘルスファーマシー薬局）	
服薬指導への取り組み（その11） 副作用やミス避けるための工夫				
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	可
40人				
1施設からの定員 制限なし	参加費	無料	進め方	問題解決型
<p>今までのWSでは、子どもの服薬指導をテーマに薬の飲みませ方の工夫、飲みやすい薬の紹介、母親の子どもの薬に対するアンケートによる情報収集などを行ってきました。今回は、副作用を避けたり、早期に発見するための（抗ヒスタミン剤、テオフィリン、抗生剤など）薬の使い方および薬歴、既往歴、家族歴などの活用の仕方を検討する予定です。また、処方ミスや調剤ミスを減らすために、医療機関と薬局が工夫している内容についても議論したいと思います。事前アンケートを行う予定ですのでご協力をお願いいたします。</p>				
WS-A-05		リーダー 須藤三枝子（大分こども病院看護部）	サブリーダー 東ちえみ（えがみ小児科） 倉本和枝（大分こども病院事務部） 山田彩美（大分こども病院医療技術部医療専門保育士室） 中之園由香（同保育士室）	
全職員で取り組むトリアージ ～看護師主体から多職種協働へ～				
参加人数定員	対象	看護師 事務系職 保育士 検査技師 放射線技師	当日参加	空きがあれば可
30人				
1施設からの定員 制限なし	参加費	無料	進め方	問題解決型
<p>現在、トリアージにおける緊急度の判断は、看護師主体で行われています。しかし、トリアージには、受付から帰宅、または入院まで様々な医療スタッフが関わっています。トリアージの質を確保するためには、患者に関わる全職員がその必要性を認識し、お互いの役割を認め合いながら機能させることが重要であり、全職種の連携体制が不可欠だと考えます。本WSの到達目標は、それぞれの職種の役割と機能を明確にし、多職種協働のトリアージを実施できる体制を作ることです。看護師だけでなく、事務、保育士、検査技師、診療放射線技師等の患者さんにかかわるすべての職種の皆さん、意見を出しあい、全職種協働のトリアージ実施を目指しましょう。参加をお待ちしています。</p>				
WS-A-06		リーダー 後藤洋一（後藤こどもクリニック）	サブリーダー 和泉桂子、小森谷美智子、今井玲子（後藤こどもクリニック） 徳留人美（陽光保育園園長） 後藤素子（後藤こどもクリニック）	
どこまでできる健診相談 ～乳幼児健診の場で、 子育ての悩みを引き出せていますか～				
参加人数定員	対象	看護師 保育士 栄養士 事務系職	当日参加	空きがあれば可
40人				
1施設からの定員 2人まで	参加費	無料	進め方	問題解決型
<p>乳幼児健診で親子関係は大丈夫？というケースや、育児不安をかかえる母親にどう対応するとよいのか迷ったことはありませんか？ 健診を単に医学的な側面のみで捉えるのではなく、健診に来た保護者の思いに心を寄せて、どのようなアプローチをすれば子育ての悩みをうまく引き出し、良い方向にもっていけるのか、さまざまな現場に働く皆さんの経験をもとに問題解決を図りたいと企画しました。</p>				
WS-A-07		リーダー 福井聖子（大阪小児科医会）	サブリーダー 白石裕子（日本看護協会看護研修学校） 広野優子（ER テレフォンクリニック） 田原卓浩（たはらクリニック）	
小児救急電話相談の対応を学ぼう				
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	空きがあれば可
40人				
1施設からの定員 制限なし	参加費	¥1,000	進め方	研修型
<p>夜間に子どもの病気やケガで困ったとき、家庭ですぐ利用できる小児救急電話相談は、保護者にとって頼りになる存在である。一方相談員側は声だけの対応であり、日常診療の感覚では戸惑うことも多い。電話相談では、問診ではなく傾聴、相談員ではなく保護者が判断し行動決定するために必要な情報提供などが求められ、そのための技術の研鑽が必要である。今回は診療時の対応と電話相談の対応の違いを認識するため、ロールプレイを含めたグループワークを行う。過去に行った同様のWSでは、参加者から「電話相談についてのモヤモヤがすっきりした」「理解が深まった」「対応の方法を工夫したい」などの感想が得られ、好評であった。</p>				

8月25日 土 9:00~11:25

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

ワークショップ

WS-A-08		リーダー 村上綾子(あきつこどもクリニック)	サブリーダー 菅原大輔(自治医科大学附属さいたま医療センター小児科)	
<p>まずはあててみませんか? ~ 外来で有用なエコーの活用法 ~</p>		<p>第19回大会でのワークショップを踏襲し、ビギナーの方を対象に外来エコーの有用性を学んでいただきます。ミニレクチャーの後、2班に別れてハンズオン形式で行います。本ワークショップでは外来ではかかせない頸部エコーを中心とした体表エコー、急性腹症を念頭においた腹部エコーを中心に学んでいただきます。最後にエコーを導入するにあたって困ったこと・疑問点をディスカッション形式で解決していききたいと思います。</p>		
		参加人数定員 20人	対象 医師	当日参加 不可
1施設からの定員 1人まで	参加費 ¥3,000	進め方 問題解決型		
WS-A-09		リーダー 村上博(ユニコの森村上こどもクリニック)	サブリーダー 芦田乃介(あしだこども診療所)	
<p>今までにない外来でのムンテラ技術向上</p>		<p>外来での患者さんの納得、満足度を上げる“今までにない魔法のようなムンテラ”技術の向上を目指します。事前に、日常診療で苦勞している事例、例えば、とにかく点滴をしたがる親、抗生物質をほしがる親、解熱剤に頼る親、ワクチンを全くしない親、同時接種を嫌がる親、夜尿やチェックなど心理的な課題、心配性の親、待ち時間が長くて怒り出した親、診療時間ぎりぎりぎりぎり電話が鳴った時、夜間や休日に電話で答える方法などなど誰もがちょっと苦手な? 事柄を広く募集し、短時間で親も納得、医師やスタッフの満足な解答集の作成を目指します。手法としては、NLP やハコミセラピーなどの手法も用います。</p>		
		参加人数定員 40人	対象 制限なし	当日参加 空きがあれば可
1施設からの定員 2人まで	参加費 ¥1,000	進め方 問題解決型		
WS-A-10		リーダー 櫻井淑子(くまがいこどもクリニック)	サブリーダー 藤川美紀(松下こどもクリニック) 大江和子(松下こどもクリニック) 新垣純子(くまがいこどもクリニック) 水口智美(くまがいこどもクリニック)	
<p>子供の採血、点滴においての ポジショニングについて考えてみませんか?</p>		<p>当院では採血、点滴の際に採血台を利用し、2歳近くになると母親(保護者)に抱っこしてもらい実地していますが、他院ではどのような形で処置されているのでしょうか? 採血台を利用するとしても、より正確に行えるポジショニングは無いのでしょうか? そのような考えから今回ワークショップでは、参加者から小児科外来での採血方法などを発表していただき、それを元に全員でよりよいポジショニングを考えてみたいと思います。到達目標: 採血、点滴時のよりよいポジショニングの共有</p>		
		参加人数定員 30人	対象 看護師	当日参加 不可
1施設からの定員 3人まで	参加費 無料	進め方 研修型		
WS-A-11		リーダー 萩野里美(崎山小児科)	サブリーダー 加藤篤子(どんぐりこどもクリニック) 山下慎太郎(みやた小児科)	
<p>事務スタッフに出来る待ち時間の工夫 ~ 待ち時間短縮と有効利用の工夫 ~</p>		<p>予約制の導入などの工夫をしても、診療がスムーズに進まないこともあり、どうしても患者さんをお待たせしてしまうことがあります。そこで、事務スタッフが出来る待ち時間の工夫は何があるのか、どうしたら待ち時間を待つだけではない有効な時間として活用できるかを考えてみたいと思います。参加者には事前にアンケートを行い、それぞれの施設の待ち時間の現状やシステム、現在行っている工夫について報告していただきます。絵本の読み聞かせなど、事務スタッフが関わることで出来る待ち時間を短く感じさせる具体例を中心に、いろいろな施設のアイデアを参考にさせていただいて、さらにより待ち時間の工夫を見つけれたらと思います。</p>		
		参加人数定員 30人	対象 事務系職	当日参加 不可
1施設からの定員 制限なし	参加費 ¥500	進め方 問題解決型		

8月25日 土 14:00~16:25

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

ミニシンポジウム

MS-B-12		リーダー 吉永陽一郎 (吉永小児科医院)	サブリーダー 七木田方美 (比治山大学短期大学部) 池澤千恵子 (いけざわこどもクリニック)		
愛着を支える育児支援「タッチケア」					
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	空きがあれば可	
100人					
1施設からの定員	参加費	¥1,000	進め方	研修型	
制限なし					

MS-B-13		リーダー 矢嶋茂裕 (矢嶋小児科小児循環器クリニック)	サブリーダー 岡田清春 (おかだ小児科医院) 福田弥一郎 (福田診療所) 佐久間秀人 (佐久間内科小児科医院)		
熱傷の湿潤療法を学ぼう					
参加人数定員	対象	医師 看護師	当日参加	空きがあれば可	
100人					
1施設からの定員	参加費	無料	進め方	研修型	
2人まで					

ワークショップ

WS-B-14		リーダー 小笠原安子 (横田小児科医院)	サブリーダー 小倉美由紀 (星川小児クリニック) 高田理香 (横田小児科医院)		
たかが「事務」されど「事務」 ～事務の可能性を広げよう！					
参加人数定員	対象	事務系職	当日参加	空きがあれば可	
70人					
1施設からの定員	参加費	無料	進め方	問題解決型	
2人まで					

WS-B-15		リーダー 川口千鶴 (順天堂大学医療看護学部)	サブリーダー 及川郁子 (聖路加看護大学) 長谷川桂子 (岐阜県立看護大学) 山本美佐子 (四日市看護医療大学)		
外来看護の検討(6) 子どもの予防接種教育をやってみよう！					
参加人数定員	対象	看護師 助産師 保健師 (参加する看護職が所属する施設の) 医師	当日参加	不可	
37人					
1施設からの定員	参加費	無料	進め方	問題解決型	
1人まで					

8月25日 土 14:00~16:25

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

ワークショップ

WS-B-16		リーダー 齋藤栄二（おおば薬局）	サブリーダー 松本康弘（ワタナベ薬局上宮永店） 仙敷義和（信栄調剤薬局） 上荷裕広（すずらん調剤薬局）		
<p>さあ、くすりを飲もう！（その3） ～服薬動機を高めるために～</p>					
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	不可	
40人					
1施設からの定員 制限なし	参加費	無料	進め方	問題解決型	
				薬を嫌がる子の服薬動機を高める WS を過去二回開催してきた。一回目の WS では服薬動機を高めるために現在自分たちが行っている対策と結びつけて、原因と対策の関連を整理した。二回目の WS では前回で特に問題となった保護者の考えや行動について焦点を当て、問題のある保護者をいくつかのパターンに分類し、行動変容を起こさせるためにどのような対策を講じればよいか検討した。今回は患児自身に焦点をあてて検討を行いたい。患児の服薬動機を高め、行動変容を引き起こさせるために私たちはどのような行動を起こせばよいかを具体的事例を基に検討し日常業務に活用できるプロダクトを作成したい。	
WS-B-17		リーダー 深澤満（ふかざわ小児科）	サブリーダー 西村龍夫（にしむら小児科）		
<p>隣の小児科の喘息診療が知りたい！</p>					
参加人数定員	対象	医師20名 看護師10名	当日参加	空きがあれば可	
30人					
1施設からの定員 1人まで	参加費	無料	進め方	研修型	
				小児の気管支喘息は「吸入ステロイド薬」や「ロイコトリエン拮抗薬」の登場で、だれがどのように治療してもそれなりに治ってしまう時代になったようです。専門学会のガイドラインも有用ですが、日常臨床では画一的な診療は不可能です。患者数、スタッフ数、休日夜間救急体制などに応じ、小児科医はいろいろ工夫をしながら診療していると思われます。このようなエビデンスはないが試行錯誤で確立されてきた診療には学ぶべきものが数多くあるはずです。ただ、他の医師の診療内容を知る機会はほとんどありません。今回の WS では参加者が互いの診療方針とその理由を語り合い、参加者自身の喘息診療を見直すきっかけになることを期待しています。	
WS-B-19		リーダー 茂木恒俊（飯塚病院総合診療科）	サブリーダー 岩元二郎（飯塚病院小児科） 児玉和彦（こだま小児科 和歌山生協病院） 加藤千明（飯塚病院 飯塚・須田家庭医療プログラム）		
<p>小児救急初療コース （Triage & Action）</p>					
参加人数定員	対象	医師 看護師 薬剤師 医学生	当日参加	空きがあれば可	
30人					
1施設からの定員 制限なし	参加費	無料	進め方	研修型	
				緊急度や重症度が高い患児を適切にトリアージし、見逃してはいけない疾患、見た目から全身状態が悪い子どもを早く発見し、適切な初期対応を行いながら小児科医に相談、連絡する能力を身につけるコースです。帰宅可能な軽症疾患に対する対応も学習します。コースをとおしてトリアージや発熱などのシナリオ症例に対するロールプレイを体験しながら楽しく学習します。	
WS-B-20		リーダー 森蘭子（森こどもクリニック）	サブリーダー 大口展生（おおぐちこどもクリニック） 杉原桂（多摩ガーデンクリニック） 武井克己（たけい小児科・アレルギー科）		
<p>やってみよう 小児漢方！ ～子どもへの漢方薬の投与方法について～</p>					
参加人数定員	対象	医師 薬剤師 看護師	当日参加	不可	
30人					
1施設からの定員 2人まで	参加費	¥500	進め方	研修型	
				漢方薬が良さそうだと思っても、いざ子どもに飲ませることを考えると、苦い薬を飲んでくれるのか、どのように服薬方法を指導すればよいかなど疑問点が多く、難しそうだと感じている方が多いのではないのでしょうか。今回の WS では「小児への漢方薬の服薬指導ができるようになる」ということを目標に、実際の漢方薬を手に取り、具体的な服薬指導方法を学びます。そのまま飲ませる時のコツ、どんなものに混ぜると飲ませやすくなるのか、混ぜる時のタブー、粉薬以外の製剤の利用など、実物を用いて皆さんで試行錯誤しながら、服薬指導をマスターしましょう。漢方薬の服薬指導に携わる医師、薬剤師、看護師の方の参加をお待ちしています。	

8月25日 土 14:00~16:25

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

ワークショップ

WS-B-21		リーダー 清水健（しみず小児科）	サブリーダー 田村有広（たむらこどもクリニック）	
電子カルテ ANNYYS 臨床版における危機管理について				
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	可
40人				
1施設からの定員 制限なし	参加費	¥500	進め方	研修型
2011年3月の東日本大震災の発生を契機に、多くの医療機関で電子カルテをはじめとした「ITシステムの危機管理」の在り方が見直されてきています。厚生省が2010年2月に発表した「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第4.1版」によって、民間のデータセンター事業者が医療機関の保有データの外部保存が可能になり、外部機関による医療情報のデータ保存・管理が認められたように、環境がいろいろ変わってきました。危機管理を、総論では、最先端の病院レベルからと情報セキュリティスペシャリストから、ANNYYYS臨床版を念頭に話してもらいます。また各論では実際のANNYYYS臨床版の危機管理を説明します。				
WS-B-22		リーダー 野田隆（のだ小児科医院）	サブリーダー 牟田広実（飯塚市立病院）、伊藤裕子（伊藤医院）、三浦秀史（禁煙マラソン）	
喫煙防止授業事始め				
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	空きがあれば可
40人				
1施設からの定員 1人まで	参加費	無料	進め方	研修型
タバコ問題検討会は、これまで喫煙防止授業にも継続的に取り組んできました。第14回大分、第17回熊本、第18回名古屋では、禁煙支援の実例として紹介。第16回横浜では、資料を作成。第20回福岡では、模擬授業を公開。第21回神戸では、喫煙防止授業 何をどう伝えるか というテーマで、掘り下げて討議しました。今回は喫煙防止授業初心者の方を主な対象に、いろいろな立場の方のいろいろな形式の授業を知ingことを目的とします。 誰でも、子どもたちにタバコを吸ってほしくないという気持ちは、お持ちのことと思います。その思いを形にするノウハウを学ぶために参加してみませんか。あなたの背中をやさしく後押ししてくれるでしょう。				
WS-B-23		リーダー 安東大起（野間こどもクリニック）	サブリーダー 野間大路（野間こどもクリニック）、鈴木絢（野間こどもクリニック）	
外来小児科における臨床心理士の業務内容について考える				
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	可
20人				
1施設からの定員 制限なし	参加費	無料	進め方	問題解決型
外来小児科における心理士の業務の現状（カウンセリングや心理療法、発達障害児への支援、親へのカウンセリング発達検査、ペアレントトレーニング、学校や園との連携など）を語り、そこから外来小児科に勤める心理士の課題と将来の展望を参加者と考えていきたいと考えています。また心理士を雇用されていないクリニックの方々にも、身近に等身大の心理士の仕事を理解していただきたいと思います。将来的に連続して、このWSを企画したいと考えているので、今回は総論的に話題を展開して、次回から各論的にテーマを絞り、企画をしていきたいと考えています。				
WS-B-24		リーダー 小倉直子（横田小児科医院）	サブリーダー 杉崎雅子（横田小児科医院）、竹内有紀（こはるび学園）	
体験してみよう！ ペアレント・トレーニングの実際				
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	空きがあれば可
40人				
1施設からの定員 制限なし	参加費	無料	進め方	研修型
発達障害や育てにくさを持つ子どもの「保護者」を対象とした、「ペアレント・トレーニング」が注目されています。が、まだ実施している個所が少なく、興味はあっても、実践マニュアルだけではどんなものが想像しにくいのではないのでしょうか。 通常は、保護者が6~7名、スタッフ2人で、2週間おきに全10回のコースを半年近くかけて、お母さんたちの試行錯誤に寄り添い、はげまし合いながら進行していきます。今回のWSでは、その概要とエッセンスを凝縮し、ほんの少しだけ体験していただけたらと思います。 「発達障害」に限らず、実際にはあらゆる子育て、人間関係に応用可能な、「ほめて育てる」コツを、伝授します！				

8月25日 土 14:00~16:25

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

ワークショップ

WS-B-25		リーダー 高田修(たかだこども医院)	サブリーダー 佐久間秀人(佐久間内科小児科医院) 多田香苗(愛育こどもクリニック) 佐藤秀明(NPO ここねっと発達支援センター)		
WISC を体験してみよう		発達障害を持つ子どもたちは、診断名だけでは括れない個性や特性を持っています。そのため、各々が抱える困難さには多様性があります。 WISCIIIは診断のためにも有用な検査ですが、その結果である「プロフィール分析」を、その子の「よさ」の観点から正しく解釈できれば、その子特有の苦しみを共感的に知る事もでき、ストレスマネージメントを含めた養育支援や教育支援につなげる事ができます。 このWSでは、参加者全員がWISCIIIの簡易版を体験し、参加者がプロフィール分析を適切に読み取れるようになることを到達目標とします。			
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	空きがあれば可	
40人					
1施設からの定員	参加費	¥2,000	進め方	研修型	
制限なし					
WS-B-26		リーダー 金子淳子(金子小児科)	サブリーダー 金原洋治(かねはら小児科) 藤野浩(藤野医院) 藤田一郎(佐賀大学)		
これからの1か月健診を考える(その2) ~魅力ある1か月健診は小児科で~		1か月健診を小児科でおこなうことは、ワクチン接種の啓発はもとより、愛着形成支援や虐待防止の視点からも大きな意義がある。 昨年のWSでは、開業産科で出生した児は、産科医や、産科に生れた小児科医による1か月健診を受けていることが多いという実情がある一方、小児科で1か月健診がおこなわれている県では、母乳率やヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種率が高いことがわかった。 周産期からの子育て支援という視点で、すべての親子にとって望ましい1か月健診について模索するWSとしたい。			
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	可	
40人					
1施設からの定員	参加費	無料	進め方	問題解決型	
制限なし					
WS-B-27		リーダー 島田康(しまだ小児科)	サブリーダー 小野靖彦(おの小児科医院) 稲光毅(いなみつこどもクリニック)		
お母さんがたへ、効率よく 情報を伝えるテクニック		小児科外来においては、掲示物がどうしても多くなり、大切なこと・単なる情報が並列に提示され、特に熱心なお母さん(お父さん)でなければ、見逃しやすい。そこで上手に伝える工夫を討論したいと考えています。NHKディレクターにご参加を戴き、マスコミ的(情報伝達のプロ的)にはどのようなテクニックがあるのか、また、ちょっとした一言で誤解を受ける・理解しやすいこと等を参加者とともに討論し、日常の情報伝達に役立てたい。そして医療機関に於いての様々な伝達手段に利用して、家族との上手な・効果的な・正確なコミュニケーションをとれるようになりたい。			
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	空きがあれば可	
30人					
1施設からの定員	参加費	¥1,000	進め方	問題解決型	
制限なし					



8月26日 日 9:00~11:25

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

ミニシンポジウム

MS-C-28		リーダー 松田隆（まつだ小児科医院）	サブリーダー 岡空輝夫（岡空小児科医院）、内田俊彦（オーソティックスソサエティー理事長）、永井恵子（NPO 法人 WISH 理事長）		
<p>子どもの足を考える（パート5） 「子どもたちの足や靴から、五感を開き、生きる力を育てる歩育を考える」</p>					
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	空きがあれば可	
100人					
1施設からの定員	参加費	¥1,000	進め方	研修型	
制限なし					

MS-C-29		リーダー 高橋裕子（奈良女子大学）	サブリーダー 野田隆（野田小児科医院）、牟田広実（飯塚市民病院）、伊藤裕子（伊藤内科医院）		
<p>赤ちゃんから始まる禁煙支援</p>					
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	可	
100人					
1施設からの定員	参加費	無料	進め方	研修型	
制限なし					

ワークショップ

WS-C-30		リーダー 加藤篤子（どんぐりこどもクリニック）	サブリーダー 塩野千春（ぼよぼよクリニック）、山下慎太郎（みやた小児科）		
<p>事務スタッフのための ワークショップ入門セミナー B ～クレームの内容と対処～</p>					
参加人数定員	対象	事務系職	当日参加	可	
60人					
1施設からの定員	参加費	無料	進め方	問題解決型	
2人まで					

WS-C-31		リーダー 村上博（ユニコの森村上こどもクリニック）	サブリーダー 芦田乃介（あしだこども診療所）		
<p>当たり前だと思っている 今までの慣習のルーツを 楽しく勉強しよう！</p>					
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	空きがあれば可	
40人					
1施設からの定員	参加費	¥1,000	進め方	問題解決型	
2人まで					

8月26日 日 9:00~11:25

年次集会ホームページから参加登録をお願いします。

ワークショップ

MS-C-32		リーダー 福隅美鈴（鈴木小児科医院）	サブリーダー 木下博子（大分こども病院医療技術部薬局）、松本康弘（ワタナベ薬局上宮永店）、稲垣美知代（いながき薬局立川店）	
<p>病児保育での服薬を考えよう： 実際、現場で困ったことを 話し合いましょう</p>			<p>一昨年のWS「現代社会に求められる外来小児科での病児保育」において、「服薬」が問題点としてあがりました。そこで、WS「こどもと薬」とコラボし、本WSを企画しました。「服薬」に関する問題点の中から、今回は、服薬時のヒヤリハットをとりあげます。薬に関するヒヤリハット事例を出し合い、その解決策を探しませんか。現在、病児保育に携わっている方だけでなく、この問題に関心をお持ちの方の参加をお待ちしています。</p>	
参加人数定員	対象	医師 看護師 看護助手 保育士 薬剤師 栄養士 事務系職	当日参加	空きがあれば可
40人				
1施設からの定員 制限なし	参加費	¥300	進め方	問題解決型
MS-C-33		リーダー 松浦伸郎（松浦医院）	サブリーダー 川島崇（川島内科クリニック）、及川馨（及川医院）	
<p>予防接種における ワクチンの説明を考える ～健康教育や啓発活動も含めて～</p>			<p>予防接種対象者には施行するワクチンの説明を保護者または本人に対して行う必要がある。しかし新しい多くのワクチンは保護者には理解しにくいことも多い。接種スケジュールを調整する際にも同時接種のコンセンサスが十分にできていないために困難な場合もある。また集団免疫の浸透を図る必要性などは理解しにくいいため、対象者がそれぞれ個人の意見を主張する場合もある。HPV ワクチンは思春期の女子に接種するため学校での性教育が事前に行われていなければならないが、一般的に学校での性教育は十分でなく、説明に困惑する場合も多い。このような状況で医療者として被接種者にどのような説明を行っていったらいいか、健康教育や啓発活動も含めて討議したい。</p>	
参加人数定員	対象	医師	当日参加	空きがあれば可
30人				
1施設からの定員 1人まで	参加費	無料	進め方	問題解決型
WS-C-34		リーダー 柳本利夫（やぎもと小児科）	サブリーダー 高柳滋治（はるこどもクリニック）、山田進一（山田こどもクリニック）	
<p>『勇気づけ』の子育て支援を学ぼう アドラー心理学ワークショップ 『子どもを勇気づける』</p>			<p>アドラー心理学は、オーストラリアの精神科医であるアルフレッド・アドラーが創始し、その後継者達が発展させた心理学の理論、思想と治療技法の体系です。アドラーは、診療所での診療の他に児童相談所で子育てに困った母親達の相談をしたり、家庭や学校におけるこどもの教育について精力的に活動したことが知られています。今回は、小児科外来での子育て支援につかえるアドラー心理学の中核である『勇気づけ』の技法を中心に、理論と実践で学ぶワークショップです。今回のテーマは『子どもを勇気づける』です。</p>	
参加人数定員	対象	制限なし	当日参加	不可
30人				
1施設からの定員 制限なし	参加費	無料	進め方	研修型
MS-C-35		リーダー 土屋千枝（川井小児科クリニック）	サブリーダー 岡本まゆ美（つつじが丘こどもクリニック）	
<p>赤ちゃんのスキンケア教室を はじめませんか？（その2）</p>			<p>乳児湿疹やアトピー性皮膚炎の治療にはスキンケア指導が欠かせません。しかし、忙しい外来診療の中だけでは十分な指導の時間が取れません。そこで、前回のWSではマンツーマンで母親指導ができるような「スキンケア教室」を開設しようと呼びかけ、スキンケア指導の基本的実技の実習をしました。その結果、参加者の幾つかの施設で取り組みが行われています。今回もスキンケア教室の開設に取り組みたいとお考えのクリニックの看護師を募集します。入浴法や保湿剤、ステロイド軟膏の使用法をどのようにわかりやすく指導するか、また教室のシステム作りはどうしたら良いかなどについて話し合いたいと思います。コメントーターは益子育代さん。</p>	
参加人数定員	対象	看護師	当日参加	不可
20人				
1施設からの定員 1人まで	参加費	¥1,000	進め方	研修型

